

平成 13 年度：期末試験出題大予測

鉄筋コンクリート(1)

14年1月31日(木)試験実施

1 章．鉄筋コンクリートの特徴と構造

スライドにて紹介したコンクリート構造物と関連して、

1-1 コンクリート構造物の種類と特徴

1-3 コンクリート構造物の3要素

(読み物的におもしろいので、折りに触れ読んでもらいたい)。

2 章．鉄筋コンクリートの材料力学

2-1 応力/ひずみ/弾性係数：毎年必ず出る

力学系の基本中の基本．体で覚える．

例題 2.2 と練習問題は、答えを見ないで、素早く解答できる様に．

2-2-1 鉄筋の性質：

弾性係数と降伏強度（鉄筋の種類ごと、例 SD295 など）

2-3-1 圧縮力を受ける RC 部材、2-3-2 乾燥収縮を受ける部材：

力学的な意味とメカニズムを要チェック．どちらか出題．

弾性係数比 n の意味と使い方（4 章の One Point アドバイスも必読）

3 章．鉄筋コンクリート部材の設計法

3-2 限界状態設計法、3-3 安全性の照査

終局限界については要 Check．照査式 & 安全係数

One Point アドバイス(p.39)必読：断面力と断面耐力、設計***の意味

4 章．曲げモーメントを受ける部材

4-1 曲げ部材の変形挙動

全般的によく読む．表 4-1: よく理解する．

4-2 曲げ部材の弾性解析と 4-3 曲げ部材の終局耐力:

両者の仮定の違いを確認．(表 4-1 と関連させる)

終局耐力：単鉄筋長方形断面の算定式をノートに完全筆記．

6 章．せん断力を受ける部材

今年度は、最後までやらなかったので、授業中にて学習した範囲．

受講学生へ：

・ O × 訂正問題は、お馴染みの必須問題．上記の出題予測と該当する教科書記述部分をよく読み、ノートに整理/筆記しておくといよい．

・ 問題の量が多いので、計算問題を手早くこなせるように．例題のやり方を、細かいところまでよく理解してもらいたい．

・ 再三、伝えるが、SI 単位の使い方をよく理解する．このため、紅白の教科書「SI 単位の上手な使い方」を参考にすること